

山梨県埋蔵文化財センター

埋文やまなし

YAMANASHI Pref
CHRONOLOGICAL Cultural
Properties Center



2008.12.5

第31号

<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/maizou-bnk/index.html>

特集

埋蔵文化財をもっと活用しよう!

山梨県埋蔵文化財センターには、平成12年度(2000)から、調査研究課に加えて資料普及課が設置されました。これは、収蔵するたくさんの考古資料の活用と学校との連携を目標とした、新しい分野の改革でした。当初は学校側の自由な発想に対応する出前支援事業から始まりました。そして、現在では、土器づくり・石器づくりなどの出前支援、発掘調査や史跡の見学をする発掘体験、発掘された資料や火起し道具などの考古資料の貸出、先生のための文化財活用支援講座の開設、中・高生の職場体験の受け入れなど、しっかりしたシステムで事業が進められるようになってきています。なかでも、学校へ直接行く出前支援や遺跡の発掘体験は、知名度もあがり好評で、資料普及課の看板事業となっています。

本号では、定着してきた事業紹介と、これから進めていく考古資料の貸出について特集していきたいと思います。考古資料は、子供たちに最も身近な歴史資料ですから、教育現場でたくさん活用してほしいと考えています。

考古資料で **ドキドキ** 体験!

資料普及課では、普段、博物館のガラスケースの中に展示されているような土器や石器などを、こどもたちに、直接、手で触れてもらいたいと思っています。そこで、考えたものが、「貸出キット」と「学習活用キット」です。これらは、埋蔵文化財センターが発掘調査した土器等を、貸出用の箱に入れて持ち運びやすくしたものです。今年は、土器づくりや土器の話しなど、出前支援事業でよく使われました。本物を手にしたこどもたちが、土器の形やその文様を見る目は、いつも真剣でとても輝いていました。



土器を持つ手は緊張。でも、本物に触ることは楽しいね。

考古資料の貸出

①貸出キット

平成17年度、「貸出キット」という土器などを入れた貸出用のケースをつくりました。右の写真のような、5つのケースに時代や形・種類などの違う遺物を収納しています。出し入れが簡単にできるようになっていて、借りる方の目的で、ケースを選んでいただけます。

貸出方法

貸出は、主に県内の教育関係の方を対象としています。センターで簡単な取り扱い説明を受けていただきますので、是非、足を運んでいただきたいと思います。



貸出キット収納内容

- キット1 縄文時代の深鉢2点
- キット2 弥生時代のカメ、高杯
- キット3 古墳時代の台付きカメ、長胴カメ
- キット4 縄文時代の浅鉢、古墳時代の土師器高杯・坏、須恵器坏、平安時代の灰釉陶器碗、江戸時代の磁器碗
- キット5 縄文時代の石器類、古墳時代の玉類、江戸時代のキセルなど

キット1収納



縄文土器（深鉢）

キット2収納



弥生土器（左：カメ・右：高杯）

キット3収納



土師器（左：台付きカメ・右：長胴カメ）

キット4収納



縄文土器（浅鉢）

土師器（左：高杯・右：坏）

須恵器（坏）

灰釉陶器（碗）

磁器（碗）

キット5収納



打製石斧と磨石

石皿

磨製石斧・石鏃・石匙・石キリなど

キセル・玉類

【こんな使い方ができます。】

例) 昔はどんなもので料理をつくったの? →キット1~3を使い、形の変化などを観察します。

②学習活用キット



イベントでの展示風景

平成 18～20 年度の 3 年間に、埋蔵文化財センターの収蔵庫から縄文土器 83 点、弥生・古墳時代の土器 127 点、奈良時代～室町時代までの土器 164 点を選び修復しました。「学習活用キット」は、貸出キットとは違い、住んでいる地域に限定したり、時代や形・用途などで選ぶなど、活用内容を自由に組み立てて借りることができます。

貸出方法

これらの土器は、年に一度行われる、先生のための文化財活用支援講座を受けていただくか、過去 10 年以内に埋蔵文化財センターに 1 年以上勤務したことのある方に貸出を行っています。



やまなし時代早見表

※これらの資料は、学習活用キットと一緒に活用してください



各時代別貸出用パンフレット



山梨県の縄文土器もよう

考古資料の貸出の詳しい手続きの方法は、埋蔵文化財センターの HP に掲載されています。

ホームページ <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/maizou-bnk/index.html>

その他各種事業の紹介

今年度の出前支援事業は 17 校で行われました。



出前支援事業

過去の出前件数

H12	7 校	H16	11 校
H13	10 校	H17	5 校
H14	10 校	H18	11 校
H15	5 校	H19	16 校

先生が自主的に文化財を活用できるように、支援するもので、今年度は 7 名参加されました。



先生のための文化財活用支援講座



発掘体験セミナー

今年度は、龍安寺川西・三光遺跡・甲府城跡で 11 回行いました。

今年の出前支援事業

～夢中で取り組む姿～



境川小



富河小



平和中



富士豊茂小



落合小



大河内小



大石小



甲府市



武川中



三富小



牧丘第二小



一宮西小



豊岡小



泉小



精進小



羽黒小



田富小

埋蔵文化財センターからのお知らせ

●発掘調査のようす

今年度は、^{いなやまいせき}稲山遺跡・^{さんこういせき}三光遺跡・^{りゅうあんじかわにししいせき}竜安寺川西遺跡・^{なかもろいせき}中丸遺跡というリニア山梨実験線建設関連と中部横断自動車道関連の寺前遺跡、旧知事公舎跡地の^{はちまんじんじやいせき}八幡神社遺跡の発掘調査が終了しました。現在、都留バイパス関連の^{みとおしせき}美通遺跡の調査が行われていますが、今月中には終了する予定です。

●センターの催し物開催報告

10/25 に上半期遺跡調査発表会、12/7 に埋文シンポが開催されました。詳細は、ホームページを御覧ください。

●これからの催し物のお知らせ

- 3/10 市町村埋蔵文化財担当者研修会
- 3/14～4/10 山梨の遺跡展
- 3/15 下半期遺跡調査発表会

遺跡トピックス

今年度の調査の中から、今回は笛吹市八代町で行われた稲山遺跡の発掘成果を、少しだけ掲載します。

調査面積約 3,800㎡の稲山遺跡からは、縄文時代と中世の二つの時代の遺構・遺物が発見されました。縄文時代(約 5,000 年前)では住居跡と遺物が、中世(14～15 世紀)では、^{ちかしきどこう}地下式土坑や何かを区画したような溝、土坑やピットと呼ばれる小さな穴などと、^{とこなめ}常滑産のカメの破片など遺物もたくさん見つかっています。



5号地下式土坑



遺物集中区出土土器

編集後記

今年もあと少しとなりました。遺跡の発掘調査が終了し、遺物の搬入や整理作業の準備などで、埋蔵文化財センターは慌ただしくなってきました。

本号では、本物の土器などに触れる機会を提供する内容について、ご紹介しました。もうすぐ、新しい年度に向けての準備が始まります。この機会に、是非、文化財を活用していただきたいと思います。



山梨県埋蔵文化財センター

埋文やまなし 第31号

発行日 2008年12月5日

編集 山梨県埋蔵文化財センター

発行 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923

TEL 055-266-3016

印刷 (株) 峽南堂印刷